

CASBEE-広島（2010年ver.1）
(仮称)サ・パークハウス舟入川口町

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版
■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階										
配慮項目				環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
						評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										3.2		
Q1 室内環境							0.40			3.8		
1 音環境						3.0	0.15	2.8	1.00	2.8		
1.1 騒音				RC壁 厚さ220以上 LL-45以上の製品使用 L-50以下		3.0	0.40	3.0	0.40			
1 暗騒音レベル		3.0	1.00			3.0	1.00					
設備騒音対策			-				-					
1.2 遮音						3.0	0.40	3.7	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00			3.0	0.30					
2 界壁遮音性能			-			4.0	0.30					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-			4.0	0.20					
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-			4.0	0.20					
1.3 吸音						3.0	0.20	1.0	0.20			
2 温熱環境								2.2	0.35		5.0	1.00
2.1 室温制御				熱損失係数2.69w/㎡・k 日射取得係数0.05		3.0	0.63	5.0	1.00			
1 室温設定		3.0	0.63			-	-					
夏・冬の室温設定			-				-					
3 外皮性能		3.0	0.38			5.0	1.00					
4 ゾーン別制御性			-				-					
夏・冬の室温制御			-				-					
個別利用			-				-					
設備の設置位置に関する配慮			-				-					
設備の設置場所			-				-					
2.2 湿度制御						-	-	-	-			
2.3 空調方式				1.0	0.38	-	-					
3 光・視環境						2.7	0.25	3.5	1.00	3.4		
3.1 屋光利用				全住戸LD側の窓面積を大きく確保		3.0	0.30	4.0	0.50			
1 屋光率		3.0	0.60			5.0	0.50					
2 方位別開口			-				0.30					
3 屋光利用設備		3.0	0.40			3.0	0.20					
3.2 グレア対策						2.0	0.30	3.0	0.50			
グレア対策			-				-					
2 屋光制御		2.0	1.00			3.0	1.00					
3.3 照度						3.0	0.15	-	-			
1 照度		3.0	1.00			-	-					
照度の確保			-				-					
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-					
4 空気質環境						3.6	0.25	3.6	1.00	3.6		
4.1 発生源対策				室内に面する建材は全面的にF☆☆☆☆を採用		4.0	0.60	4.0	0.63			
1 化学汚染物質		4.0	1.00			4.0	1.00					
ホルムアルデヒド対策			-				-					
臭気対策			-				-					
カビ・ダニ対策			-				-					
4.2 換気						3.0	0.40	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.50			3.0	0.33					
2 自然換気性能			-			3.0	0.33					
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50			3.0	0.33					
給気計画			-				-					
4.3 運用管理							-		-			
1 CO ₂ の監視			-		-							
2 喫煙の制御			-		-							
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.1		
1 機能性						1.8	0.40	3.6	1.00	3.4		
1.1 機能性・使いやすさ						1.0	0.60	4.0	0.60			
1 広さ・収納性			-				-					
2 高度情報通信設備対応			-			4.0	1.00					
3 バリアフリー計画		1.0	1.00				-					
1.2 心理性・快適性						3.0	0.40	3.0	0.40			
1 広さ感・景観			-			3.0	0.50					
2 リフレッシュスペース			-				-					
3 内装計画		3.0	1.00			3.0	0.50					
1.3 維持管理									-			-
1 維持管理に配慮した設計			-				-					
2 維持管理用機能の確保			-		-							
2 耐用性・信頼性						3.1	0.31		-	3.1		
2.1 耐震・免震				住宅性能表示制度、劣化対策等級(構造躯体)等級3の規定を満足		3.0	0.48		-			
1 耐震性		3.0	0.80				-					
2 免震・制振性能		3.0	0.20				-					
2.2 部品・部材の耐用年数						3.5	0.33		-			
1 躯体材料の耐用年数		5.0	0.23				-					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23				-					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09				-					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08				-					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.15				-					
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.23				-					

	2.3 設備の更新				-		-	
	2.4 信頼性			2.8	0.19		-	
	1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
	3	電気設備		3.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法		1.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備	浸水による情報網の損傷を回避するよう努めている	4.0	0.20		-	
	3 対応性・更新性			3.0	0.29	2.8	1.00	2.8
	3.1 空間のゆとり				-	2.6	0.50	
	1	階高のゆとり			-	3.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ			-	2.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり			2.0	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			3.0	1.00		-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
	6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.5
1 建物の熱負荷抑制			住宅性能表示制度、省エネルギー対策等級4の規定を満足	5.0	0.40		-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20		-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用				3.0	0.50		-	
2.2 自然エネルギーの変換利用				3.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化			エコキュートの設置	4.9	0.40		-	4.9
4 効率的運用					-		-	-
4.1 モニタリング					-		-	
4.2 運用管理体制					-		-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護				3.4	0.15		-	3.4
1.1 節水			便器に節水器具の採用	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用				3.0	0.60		-	
1			雨水利用システム導入の有無	3.0	1.00		-	
2			雑排水再利システム導入の有無		-		-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.4	0.63		-	2.4
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20		-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用			-	1.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.05		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.22		-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.68		-	
1			消火剤	4.0	0.33		-	
2			断熱材	5.0	0.33		-	
3			冷媒	3.0	0.33		-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.7
1 地球温暖化への配慮			オール電化住宅としている	4.9	0.33		-	4.9
2 地域環境への配慮				3.0	0.33		-	3.0
2.1 大気汚染防止			燃焼機器不使用	5.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.3	0.25		-	
1			雨水排水負荷低減	-	-		-	
2			汚水処理負荷抑制	3.0	0.33		-	
3			交通負荷抑制	4.0	0.33		-	
4			廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40		-	
1			騒音	3.0	1.00		-	
2			振動	-	-		-	
3			悪臭	-	-		-	
3.2 風害、日照阻害の抑制				3.0	0.40		-	
1			風害の抑制	3.0	0.70		-	
2			日照阻害の抑制	3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制				4.4	0.20		-	
1			屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	5.0	0.70		-	
2			屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30		-	